

寒露の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員に於かれましては、益々ご清福の段、大慶至極に存じ上げます。

皆様には日頃より当支部運営に際して特段のご高配を賜り、深甚なる敬意を表すと共に、倍旧のご支援を伏してお願ひ申し上げねばなりません。

八月二十八日は、東富士演習場で実施された総合火力演習を四年ぶりに参観して来ました。生憎の曇天のため霊峰富士は拝めませんでした。二千四百名の人員と戦車や装甲車八十両、各種火砲八十門、航空機三十機等が参加する、陸上自衛隊最大規模の実弾演習だと云うことは皆様既にご存じの通りです。

四年前は女性初の小池防衛大臣が退任される前日でしたが、今回は北沢大臣が五日後に退任と云う慌ただしい日程で、不思議な因縁を感じた次第です。

その後富士学校に移動して昼食会に参加したところ、君塚陸幕長や佐藤議員、横条議員等とも親しくお話しが出来た上に写真迄ご一緒させて戴き、その折のモノトーンコピーを今回同封しましたので是非ご覧下さい。

特に君塚陸幕長は昨年九月の東北方面記念式典以来一年ぶりの再会で、相変わらず柔和なお顔そのままの優しいお氣遣いに、ただただ感激の一日でした。

二〇三mmや一五五mm榴弾砲、一二〇mmや八一mm迫撃砲、各種ロケット砲等に極めつけは九〇式、七四式搭載戦車砲の凄まじい轟音と命中精度を目の当たりにすると、北朝鮮軍や中共軍などは鎧袖一触と実感するのは私だけではなく、今年は東日本大震災の災害派遣が長引き訓練準備もままならぬ中、高い練度で仕上がっている様子を拝見すると、流石陸上自衛隊と褒めぬ訳には参りません。

また九月二十四日は横須賀の武山駐屯地で第五十六回高等工科学校開校祭が晴天の下開催され、自衛隊生徒としては最後の五十五期を先頭に、威風堂々のパレードを挙行し、大勢の参観者から盛大な拍手と賞賛を浴びていた様です。

いよいよHTSも来年度からはチャコールグレーの制服に統一され、新体制へと移行し不安もある中、生徒達の健やかな成長を願わずにはおられません。

さて七月から皆様にはご案内をしていますが、十一月十二日(土)十四時から、清武町文化会館に於いて「自衛隊に感謝する集い」のチラシを今回も同封してあります。話題の新刊「日本に自衛隊がいてよかった」の著者「桜林美佐氏」を講師にお招きして、TV映像だけでは伝わらない東日本大震災に於ける自衛隊の活躍や貢献を、同氏の生の言葉で語って戴く予定です。

入場無料ですからご家族やご友人など沢山の方々をお誘いの上、八百余席の会場を是非皆様のお力添えを賜り、埋め尽くして戴きたいものと考えます。

日本を普通の国にするためには、自衛隊と国民の架け橋を自認する我々防衛協会や日本会議が自衛隊と連携協同し、もっと汗を流す必要があります。

平成二十三年十月一日

宮崎県防衛協会

青年部会

宮崎支部長

小倉和彦